

章魚頭姿山(高津子山)・和歌浦散策 ① [※ 実施日—2025年3月29日(土)]

(和歌山県勤労者山岳連盟交流山行)

※参加者 計31名

(ハイライトシーン)

① (田口県運理事長の開催挨拶)



③ (章魚頭姿山 別名 高津子山—その1)



② (御手洗池公園)



④ (章魚頭姿山 別名 高津子山—その2)



章魚頭姿山(高津子山)・和歌浦散策 ②

⑤ (トンガの鼻 別名 雑賀崎台場跡)



⑥ (じゃんけんゲーム)



⑦ (じゃんけんゲームの勝者)



⑧ (蓬莱岩)



⑨ (寺下紀峰山の会会長の閉会挨拶)

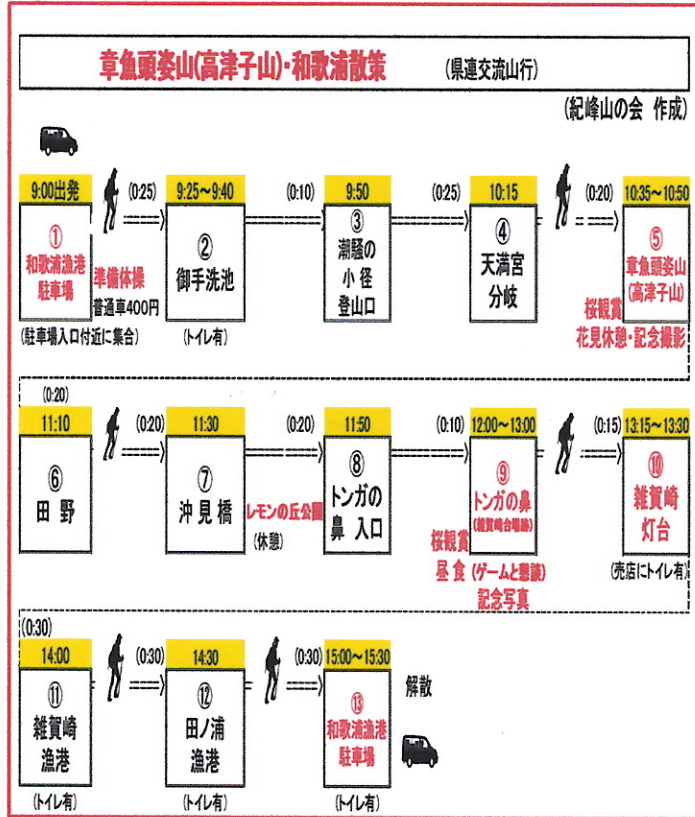


章魚頭姿山(高津子山)・和歌浦

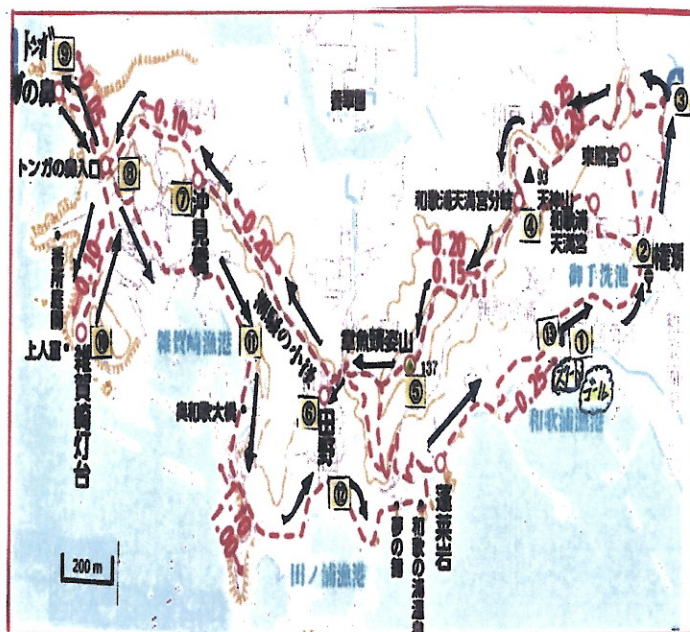
(和歌山県勤労者山岳連盟交流山行)

※(山行日) ----- 2025年3月29日(土)

※(行程) [予定・結果]



(和歌浦・章魚頭姿山のロードマップ)



紀峰山の会 (幹事)

(参加者) 計31名

※[見どころ]

- 『章魚頭姿山(たこずしやま)』は標高137mで「高津子山」とも呼ばれる山で、和歌山県の雑賀崎にある山。海から眺めるとタコの頭のように見える山容から名付けられたからとされている。潮騒の小径と呼ばれる遊歩道が整備され、遊歩道からの展望が素晴らしい。
- 『レモンの丘公園』は旧雑賀崎小学校跡地に整備した公園で、ここから見る海沿いの斜面に家が密集する雑賀崎地区の景観は、イタリアの観光都市アマルフィに似ていると話題になった。令和3年12月にはアマルフィ特産のレモンの木を跡地に植樹し、「レモンの丘」と名付けられた。
- 『トンガの鼻』は雑賀崎の3つある岬の1つで、トンガの鼻先端には和歌山県史跡「雑賀崎台場」がある。「トンガの鼻」の由来は諸説あるようですが、雑賀崎では畑を耕す際に使う鍬(くわ)のことをトンガと呼び、そこから付けられたのでは? .. なお、「鼻」は突き出た岬のことです。
- 『雑賀崎灯台』は中世に雑賀崎城があった雑賀崎の「鷹の巣」と呼ばれる崖の頂上に位置する。和歌山市が観光用展望施設を建設した際に、海上交通の紀伊水道に面しているということで海上保安庁が展望台の上に設置したものである。

(写真1) (田口県連理事長の開催挨拶)



・開催趣旨と安全第一を話される。

(写真2)

(準備体操)



- 和歌浦漁港駐車場で準備体操。
和歌山弁のラジオ体操で心も解れ、準備よし。

(写真5)

(潮騒の小径一①)



- 整備された遊歩道を進む。

(写真3)

(御手洗池公園一①)



- この時は曇り空で肌寒い。

(写真6)

(潮騒の小径一②)



- 地元のハイキングコースで、和歌浦から高津子山を通り雑賀崎へ、毎日登る人もある。

(写真4)

(御手洗池公園一②)



- ここの桜は、3分咲き？のチラホラ状態。

(写真7)

(章魚頭姿山 別名 高津子山一①)



- 10時過ぎに章魚頭姿山へ到着。
ここは8分咲き？かな。

(写真8) (章魚頭姿山 別名 高津子山一②)



- ・山頂の東屋から雑賀崎灯台をバックに。晴天となり絶景を楽しむ。「和歌山県朝日夕日100選」に選ばれた場所。

(写真11) (雑賀崎台場跡でランチタイム)



- ・(余談)江戸時代末期、外国船の来航に対処するために、紀州藩により沿岸部に築かれた土塁・石垣・砲台などの海防施設が台場です。

(写真9) (雑賀崎の民家)



- ・道幅が狭く坂道が続く。

(写真12) (じゃんけんゲーム)



- ・豪華景品を目指してじゃんけんゲームを行う。

(写真10) (トンガの鼻の桜)



- ・トンガの鼻(雑賀崎台場跡)。晴れ渡り、加太方面や隣の番所庭園が見えて景色は抜群。

(写真13) (じゃんけんゲームの勝者)



- ・見事勝ち抜き景品を手に入れた5人。

(写真 14) (雑賀崎海岸の遊歩道)



(写真 17) (蓬莱岩の全景)



(写真 15) (田ノ浦海岸の浜辺)



(写真 18) (寺下紀峰山の会会長の閉会挨拶)



・浜辺をザックザックと足音を鳴らし歩くのも気持ちが良い。

・閉会挨拶後、蓬莱岩で流れ解散。
14時過ぎに和歌浦漁港駐車場に到着。

(写真 16) (蓬莱岩)



・海岸の遊歩道の途中に「蓬莱岩」という奇岩がある。
本日、最後の記念撮影。

【最後に】

- 昨年の県連 50 周年記念交流山行(紀峰山の会主催)が雨天中止となり、今回が持ち越しの交流山行を決行しました。
- 早朝まで雨天で天気が気になったが、山行中は曇り空から晴れに変わり心地よい山行となった。
- 章魚頭姿山やトンガの鼻では、桜が7分咲きで目の保養と春を感じるひと時であった。特に章魚頭姿山からは、桜を鑑賞しながらの和歌山市内から和歌浦湾の360度の展望が開け、爽快感がありました。
- トンガの鼻での昼食とジャンケンゲームは、参加者の交流で盛り上がりました。
- 今回は、日頃から接していない人との会話や交流ができ、天気にも恵まれ春の日差しを感じたハイキングでした。